

第44回

全日本バトントワリング選手権大会

第10回WBTFインターナショナルカップ日本代表選考（同時審査）

2019年IBTFグランプリ大会日本代表選考（同時審査）

基本実施要項



一般社団法人 日本バトン協会

BATON TWIRLING ASSOCIATION OF JAPAN

目 次

第 44 回全日本バトントワーリング選手権大会

大会概要 大会日程 支部別出場枠数	2
実施規定 6 種目共通	4
審査規定 6 種目別	9

第 10 回WBTFインターナショナルカップ

大会概要	16
実施規定	19
審査規定	26

2019 年 IBTF グランプリ大会

大会概要	30
実施規定	32
審査規定	37

日本代表選考 支部別出場枠数	38
----------------	----

各種申込みについて	39
-----------	----

出場者の注意事項等	40
-----------	----

緊急対策	41
------	----

第44回 全日本バトントワーリング選手権大会 大会概要

名 称	第44回全日本バトントワーリング選手権大会
開催日程	2019年3月22日（金）23日（土）24日（日）
開催会場	丸善インテックアリーナ大阪 【大阪市中央体育館】 〒552-0005 大阪府大阪市港区田中3丁目1番40号
主 催	一般社団法人日本バトン協会 〒110-0015 東京都台東区東上野6丁目10番1号 大崎ビル303号室 TEL 03-5830-7863 FAX 03-5830-7864
特別協賛	株式会社フォトクリエイト
主 管	日本バトン協会関西支部
後 援 （予定）	スポーツ庁、外務省、大阪府、大阪府教育委員会、大阪市、大阪市教育委員会、 公益財団法人大阪体育協会、大阪市体育協会、世界バトントワーリング連合（WBTF）、 一般社団法人日本マーチングバンド協会
競技種目	ソロトワール トゥーバトン スリーバトン ペア ソロストラット ダンストワール
主 旨	本大会は、一般社団法人日本バトン協会の目的である「バトントワーリングの普及・振興に関する事業を行い、もって我が国のスポーツ芸術・文化の発展に寄与することを目的とする」の精神のもとに全国各地から優れたバトントワラーが一堂に集い、技を競い、友好を深め、スポーツ精神の高揚を計ると共に我が国のスポーツ文化の発展に貢献するものです。

大会日程〔予定〕

3月22日（金）	9:00～19:00	開会式
3月23日（土）	9:00～19:00	
3月24日（日）	8:30～18:00	表彰式・閉会式

支部別出場枠数

（１）以下の通りすべて支部推薦とする。

（２）支部別出場割当枠数は下記の通りとする。

- ① 支部別出場割当枠は過去の支部大会出場人数の割合を元に算出する。
- ② 6種目の前年度各部門優勝者登録支部に優勝枠として1枠追加する。
- ③ 主管支部は開催地枠として1枠追加する。
- ④ 支部大会の実情に合わせ、総割当枠は種目毎に自由に分割することができる。ただし、1部門7枠までを上限とする。
- ⑤ 出場者がなく使用できなかった種目は、2枠を上限として他種目へ振り替えることができる。
- ⑥ 決定した割当枠は、2019年1月15日までに日本バトン協会へ提出すること。

	北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	合計
ソロトワール	12	14	41	22	39	45	27	6	40	7	253
			4	1		4+1			1		
トゥーバトン	8	7	17	11	18	25	13	6	27	4	136
				1		5+1			2		
スリーバトン	6	3	19	3	14	20	9	2	15	3	94
			4			3+1			1		
ペア	6	10	18	11	14	13	10	4	19	4	109
			1	1		1+1			1		
ソロストラット	5	9	21	8	15	21	7	3	18	3	110
			1			3+1					
ダンストワール	9	14	23	11	21	19	10	4	25	3	139
			2			1			2		
	46	57	139	66	121	143	76	25	144	24	841

*表の下段の数字は第43回の優勝枠及び第44回の開催地枠の数が含まれていることを示す

1. 出場資格

- (1) 出場者は、申し込み時に一般社団法人日本バトン協会に団体加盟している団体に構成員登録していること。会員組織規程に準ずる。
- (2) 複数種目出場者は同一団体から申し込むこと。
(第10回WBTFインターナショナルカップ日本代表選考・2019年IBTFグランプリ大会日本代表選考を含む)
- (3) 出場者は支部大会より推薦されること。
※複数の支部での参加は認めない
- (4) 支部推薦種目
[ソロトワール/トウーバトン/スリーバトン/ペア/ソロストラット/ダンストワール]
① ペアのメンバーは、同一団体の構成員に限る。
② 同一選手の出場は6種目の中から2種目までとする。
- (5) すべての参加申し込み申請の〆切は、2019年2月25日(月)17時までとする。
- (6) 各支部より推薦された出場者は、参加申込用紙に必要事項を記入し登録団体毎にデータで提出すること。
※申込用紙は、ホームページからダウンロードすること。
- (7) 下記の種目別の参加費を、〆切日までに指定口座へ納入すること。
① 一度納入された参加費及びエントリー費は、原則として払い戻しはしない。
② 参加に要する各出場者個々の経費は、各参加者の負担とする。

ソロトワール	8,500円
トウーバトン	8,500円
スリーバトン	8,500円
ペア(1組)	13,000円
ソロストラット	8,500円
ダンストワール	8,500円

※「1. 出場資格」に反した場合は、出場資格を失うものとする。

※大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用するものではない。

2. 部門に関する規定

※未就学は含まない。

【ソロトワール】

(1) 部門は次の通りとする。

① 女子U-9	2009年4月2日～2012年4月1日
② 女子U-12	2006年4月2日～2009年4月1日
③ 女子U-15	2003年4月2日～2006年4月1日
④ 女子U-18	2000年4月2日～2003年4月1日
⑤ 女子U-22	1996年4月2日～2000年4月1日
⑥ 女子O-23	～1996年4月1日
⑦ 男子J r U-12	2006年4月2日～2012年4月1日
⑧ 男子J r U-17	2001年4月2日～2006年4月1日
⑨ 男子S r	1996年4月2日～2001年4月1日
⑩ 男子A d	～1996年4月1日

【トゥーバトン】

(1) 部門は次の通りとする。

① 女子U-12	2006年4月2日～2012年4月1日
② 女子U-15	2003年4月2日～2006年4月1日
③ 女子U-18	2000年4月2日～2003年4月1日
④ 女子O-19	～2000年4月1日
⑤ 男子J r U-12	2006年4月2日～2012年4月1日
⑥ 男子J r U-17	2001年4月2日～2006年4月1日
⑦ 男子S r	1996年4月2日～2001年4月1日
⑧ 男子A d	～1996年4月1日

【スリーバトン】

(1) 部門は次の通りとする。

① 女子U-12	2006年4月2日～2012年4月1日
② 女子U-15	2003年4月2日～2006年4月1日
③ 女子U-18	2000年4月2日～2003年4月1日
④ 女子O-19	～2000年4月1日
⑤ 男子J r U-12	2006年4月2日～2012年4月1日
⑥ 男子J r U-17	2001年4月2日～2006年4月1日
⑦ 男子S r	1996年4月2日～2001年4月1日
⑧ 男子A d	～1996年4月1日

【ペア】

(1) 部門は次の通りとする。

- | | |
|--------|---------------------|
| ① U-12 | 2006年4月2日～2012年4月1日 |
| ② U-15 | 2003年4月2日～2006年4月1日 |
| ③ U-18 | 2000年4月2日～2003年4月1日 |
| ④ O-19 | ～2000年4月1日 |

- ※ 性別区分は行わない。2人の内、年齢が上の人の部門とする。
- ※ 補欠は認めない。

【ソロストラット】

(1) 部門は次の通りとする。

- | | |
|--------|---------------------|
| ① U-12 | 2006年4月2日～2012年4月1日 |
| ② U-15 | 2003年4月2日～2006年4月1日 |
| ③ U-18 | 2000年4月2日～2003年4月1日 |
| ④ O-19 | ～2000年4月1日 |

- ※ 性別区分は行わない。

【ダンストワール】

(1) 部門は次の通りとする。

- | | |
|--------|---------------------|
| ① U-12 | 2006年4月2日～2012年4月1日 |
| ② U-15 | 2003年4月2日～2006年4月1日 |
| ③ U-18 | 2000年4月2日～2003年4月1日 |
| ④ O-19 | ～2000年4月1日 |

- ※ 性別区分は行わない。

3. 演技順に関する規定

(1) 演技順は、大会実行委員会の抽選により決定する。

(2) 決勝の演技順は準決勝の演技順とし、種目重複選手を考慮し大会運営本部にて決定する。

(3) グランプリ戦の演技順は、大会実行委員会で決定する。

4. 審査、順位に関する規定

(1) 審査員長・審査副員長

- ① 審査員長1名、審査副員長1名とし、審査の円滑な遂行を統括する。

(2) 審査員・ペナルティ審査員

- ① 審査員は、準決勝5名／決勝5名／グランプリ戦7名とする。
- ② ペナルティ審査員は、1名とする。

(3) 準決勝・決勝・グランプリ戦は次の通りとする。

- ① 準決勝上位 8 位までが決勝に進出する。
- ② 準決勝出場者が 12 名以下の場合は、準決勝を行わず決勝のみとする。
- ③ グランプリ戦は決勝の各部門 1 位が出場する。

(4) 準決勝／決勝とも順位の決定は次の通りとする。

- ① 審査員の評点(10 点法小数点第 2 位まで) からペナルティを差し引き審査員の得点とする。
- ② 各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する。
※準決勝を棄権した場合は棄権とし、決勝を棄権した場合は決勝の最下位とする。
- ③ 同位者のみ次の優先順に従って順位を決定する。
優先順 1 各審査員の得点より、席次点を算出し全審査員の席次点合計の低い方を上位とする。
優先順 2 各審査員の得点より、全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする。
優先順 3 各審査員の得点より、全審査員の得点合計の高い方を上位とする。
優先順 4 決勝において、1 位が同位になった場合は 1 位のみ再演技を行い 1 位・2 位を決定する。
- ④ 順位を掲示し、1 位から 8 位までを入賞とする。

(5) グランプリの決定は次の通りとする。

- ① 審査員の投票を集計する。票数が同じ場合は同票者のみ再投票を行う。

5. 表彰に関する規定

(1) 出場者全選手に賞状を授与する。

(2) 各種目各部門共 8 位までを入賞とし、賞状及び副賞を授与する。

(3) グランプリ受賞者（ソロトワール／トゥーバトン／スリーバトン／ペア／ソロストラット／ダンストワール）には、賞状及び日本バトン協会杯を授与する。

(4) 日本バトン協会杯は年度持ち廻りとする。

6. コスチュームに関する規定

【ソロトワール／トゥーバトン／スリーバトン／ペア／ソロストラット共通】

(1) 自由（女子はパンツスタイル不可）

【ダンストワール】

(1) 自由（小道具・帽子着脱は不可）

7. バトン、その他に関する規定

(1) すべての種目共通

- ① ボールとティップは新しいものを使用すること。演技前にバトンのチェックを行う。
- ② バトンのシャフトはどのような色を使用しても良い。
- ③ バトンのシャフトに貼るテープはどのような色を使用しても良い。
- ④ 演技スペースヘタオール・パウダー等バトン以外を持ち込んで서는ならない。
- ⑤ 演技中の怪我のための包帯は可。
- ⑥ 必要ならばメガネは可。サングラス・光りものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリ類は全て禁止する。
- ⑦ 付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する。
- ⑧ スポーツ競技であることを前提に、適度なメイクアップは良い、装飾（顔に絵を描いたりすること）は禁止する。
- ⑨ アナウンスについての規定
①セット番号→②最後の選手名アナウンス後→③4拍後に「ミュージック」→④2拍後に音楽を再生する。

8. 競技におけるアクシデントに関する規定

- (1) 大会期間中のアクシデント（体調不良、怪我・演技中にバトンが折れる）について、再演技の判断は、団体責任者・本人・審査員長・実行委員長が協議し決定をする。
- (2) 再演技を行った場合は、再演技の採点を有効とする。ただし、再演技を行わなかった場合は演技をした所までを採点対象とする。
- (3) 選手が自分の演技時間に出遅れ、途中から演技を行った場合は、演技を行ったところを採点対象とする。演技コートにいない場合は棄権とみなす。

9. その他

- (1) 大会の主旨に反する行為を行った場合、警告又は次回大会出場停止とする。
- (2) 本実施要項の主旨を変更することなく、大会実行委員会において加除訂正を行うことができる。
- (3) 2010年度改訂6種目課題曲CD（ソロトワール／トゥーバトン／スリーバトン／ペア／ソロストラット／ダンストワール）2,160円を送料別にて販売する。

※上記の販売に関しては、一般社団法人日本バトン協会ホームページを確認のこと。

[<http://www.baton-jp.org/>]

【ソロトワール】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……1名
- ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン1本
- ③ 演技スペース ……縦7m×横7mの広さを目安とする
- ④ 課題曲(時間) ……Solo Special (約1分45秒)
- ⑤ 演技内容 ……1本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

- ア) イントロダクション(オープニング サリユートは自由)
- イ) 3モード
 - エーリアル [バーティカル・フラット(水平)]
 - ロール [バーティカル・フラット(水平)]
 - コンタクト マテリアル [バーティカル・フラット(水平)]
- ウ) エンディング(エンディング サリユートは自由)
 ※フロアワークは組み入れない方が望ましい。

(2) 審査内容

① 内容

- ア) バラエティー
 - ・3モードのバランス/両手使い
- イ) ディフィカルティー
 - ・バトンとボディの困難度/リリース、レセプション、リードイン、フォロースルー、コネクション

② 実施

- ア) テクニック
 - ・バトンの正確さ/ボディワークの正確さ/バトンの熟練度・質/ボディワークの熟練度・質/リズム・タイミングのコントロール
- イ) パフォーマンス&エクスペッション
 - ・プロジェクション(意気込み)/ダイナミックさ/持続性(忍耐力とスタミナ)/自信のある演技/リカバリー能力/観客や審査員に対しての一体感
- ウ) スピード
 - ・バトンの回転だけでなく、全体(3モード)を通しての一貫したスピード/スピードコントロール

③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

- ア) ドロップ 1本につき0.1点減点
- イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点(サリユートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

【トゥーバトン】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……1名
- ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン2本
- ③ 演技スペース ……縦7m×横7mの広さを目安とする
- ④ 課題曲（時間） ……Two Baton・Three Baton & Pair Special（約1分30秒）
- ⑤ 演技内容 ……2本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成

- ア) コンタクト マテリアル（2本のバトンを身体の近くで行うトワール）
- イ) ロール（両手を使ったロール。又は空中で1本のバトンが高く、もう1本がロールの組み合わせ）
- ウ) ハイ ロー（空中で1本のバトンが高く、もう1本が低いエーリアル。又は1本が高くもう1本はコンタクト マテリアル等の組み合わせ）
- エ) ダブル トス トリック（2本同時に空中ヘトス）
- オ) ジャグル（片手で連続的なリリースとキャッチ。例：片手で2本のバトンを交互にトス）
- カ) シャワー（両手で連続的なリリースとキャッチ。例：1本のバトンをトスしている間にもう1本をパスして最初のバトンをキャッチ）
- キ) コンプレックス トリック（複雑なトリック・リリース・レセプション）

(2) 審査内容

① 内容

- ア) バラエティー
 - ・コンタクト マテリアル／ロール／ハイ ロー／ダブル トス トリック／ジャグル／シャワー／コンプレックス トリック
- イ) ディフィカルティー
 - ・バトンとボディの困難度／リリース、レセプション、リードイン、フォロースルー、コネクション

② 実施

- ア) テクニック
 - ・バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／トゥーバトンの熟練度・質／ボディワークの熟練度・質／リズム・タイミングのコントロール
- イ) パフォーマンス&エクスペッション
 - ・プロジェクション（意気込み）／ダイナミックさ／持続性（忍耐力とスタミナ）／自信のある演技／リカバリー能力／観客や審査員に対しての一体感
- ウ) スピード
 - ・バトンの回転だけでなく全体を通しての一貫したスピード／スピードコントロール

③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

- ア) ドロップ 1本につき0.1点減点
- イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない）

【スリーバトン】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……1名
- ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン3本
- ③ 演技スペース ……縦7m×横7mの広さを目安とする
- ④ 課題曲(時間) ……Two Baton・Three Baton & Pair Special (約1分30秒)
- ⑤ 演技内容 ……3本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成

- ア) カスケード (左右交互に行われるリリースとキャッチ)
- イ) シャワー (両手による継続的なリリースとキャッチ)
- ウ) ジャグル (片手による継続的なリリースとキャッチ)
- エ) ダブルトス — シングルトス
(2本同時に空中へトスし、それとコーディネーションして残りもう1本を
続いてトスする)
- オ) ハイ ロー (高いエーリアルの下でトゥーバトンの技を行うこと)
- カ) スタックス (高いエーリアルの下に低いエーリアルを投げあげ、その下でコンタク
トマテリアルを行う)
- キ) トリプルトス (3本のバトンが同時に空中にある状態のこと)

(2) 審査内容

① 内容

- ア) バラエティー
 - ・ シークエンスの広がりと変化、それらのミックス/両手使い/コンタクト マテリアル、
ロール/パターン、プレーン、ディレクションの扱い方
- イ) ディフィカルティー
 - ・ 密度/リリース、レセプションの困難度/リスク/エーリアル

② 実施

- ア) テクニック
 - ・ バトンの精密さ、安定度/コレクション/リズム、タイミングのコントロール/
バトンとボディのブレンド及びスピード/フォロースルー、パターンチェンジ、
レボリューションの正確さ
- イ) パフォーマンス&エクスペッション
 - ・ エンターテインメント性/持続力&スタミナ/自信のある演技/リカバリー能力
- ウ) デマンド
 - ・ 継続性/同時責任性/ビジュアルトラッキング/空間構成能力

③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

- ア) ドロップ 1本につき0.1点減点
- イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

【ペア】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……2名
- ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン2本（各1本）
- ③ 演技スペース ……縦8m×横8mの広さを目安とする
- ④ 課題曲（時間） ……Two Baton・Three Baton & Pair Special（約1分30秒）
- ⑤ 演技内容 ……二人で、バトンとボディワークの調和した技術を競う

ルーティーン構成

ア) ソロトワールと同様であるが、エクステンジなどペア要素を重視したもので構成する。
※二人がソロトワールの同じことを行うだけではなく、ペアの特色を生かした演技をすることに価値がある。

(2) 審査内容

① 内容

ア) バラエティー

・3モードのバランス／エクステンジ／ペアワーク／フロアパターン

イ) ディフィカルティー

・バトンとボディワークの困難度／シンクロナイゼーションの困難度／
コーディネーションの困難度

② 実施

ア) テクニック

・バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／バトンの熟練度・質／
ボディワークの熟練度・質／ペアのコントロール／
リズム・タイミングのコントロール

イ) パフォーマンス&エクスペッション

・ペアとしての責任／プロジェクション（意気込み）／持続性（忍耐力とスタミナ）／
自信のある演技／リカバリー能力

ウ) スピード

・バトンの回転だけでなく一貫したスピード／二人の統一したスピード

③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

ア) ドロップ 1本につき0.1点減点

イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点

ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない）

【ソロストラット】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……1名
- ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン1本
- ③ 演技スペース ……縦10m×横15mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- ④ 課題曲（時間） ……栄光へのマーチ（約1分30秒）
- ⑤ 演技内容 ……マーチのリズムの中で、優雅で気品のあるボディワークとバトンの技術を競う

ルーティーン構成

ア) イントロダクション	8拍
イ) ミリタリーストラット	32拍
ウ) プレゼンテーション	32拍
エ) フォワードモーション	96拍
オ) エンディング	16拍

構成内容

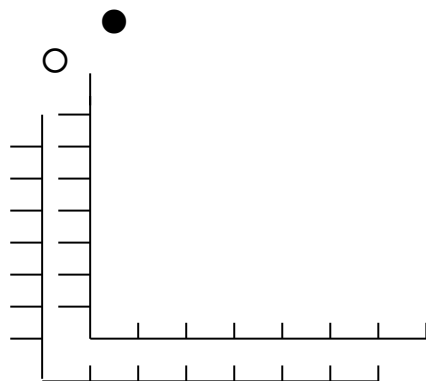
ア) イントロダクション

- ・振り付けは自由だが、ミリタリーストラットに導入しやすい動作（アテンション・サリュート等）

イ) ミリタリーストラット（ダブルL字ストラット）

- ・足の動き …… 審査員に向かってベーシックストラット（腿は、床と平行になる）で8拍前進、8歩目（右足）を踏み出すと同時に右足を軸にして左に90度方向変換、新方向へ左足より7拍前進、7歩目（左足）を踏み出すと同時に左足を軸にして右廻りで180度方向変換、右足より8拍前進、8歩目（左足）を踏み出すと同時に左足を軸にして右に90度方向変換、審査員を後ろにし、8拍前進、9歩目で右足を左足に揃える。

FM 8 (LS ON8)
FM 8 (TTR ON7)
FM 8 (RS ON7)
FM 8 (H ON8)



審査員席

- ・右手はビートタイム（拍子をとる）〔指揮杖でバンドを指揮するような動作〕
- ・左手は、指を揃えて左腰におく
- ・足は、ベーシックストラット
- ・背中まっすぐ正面（進行方向）を向く 顔は引き締める

- ウ) プレゼンテーション
 - ・自由に表現できるセクション
- エ) フォワードモーション
 - ・ビートに合わせてパレードを先導するように前進しながらバトンと優雅なボディワークを組み合わせ、フロアをデザインするセクション
- オ) エンディング
 - ・全ての終わりを示し、自由に表現できるセクション。

(2) 審査内容

① 内容

- ア) イントロダクション・ミリタリー ストラット
 - ・ビートタイム／ミリタリースタイル／ベーシックストラット
- イ) プレゼンテーション・エンディング
 - ・バトンとボディのバラエティー／ディフィカルティー／オリジナリティー
- ウ) フォワードモーション
 - ・バトンとボディの組み合わせのバラエティー、ディフィカルティー／バトンとボディの組み合わせのオリジナリティー／フロアデザイン

② 実施

- ア) テクニック
 - ・バトンとボディの調和と正確さ／シャープさ、柔軟性、優雅さ／リズムのとり方／ボディコントロール
- イ) パフォーマンス&エクスペッション
 - ・パレードを先導する演技／アピール性、自信／リカバリー能力
- ウ) アウトオブステップ
 - ・フォワードモーションにおける足踏みの誤りを指し、奇数は左足、偶数は右足でステップする。両足は1拍までとする。
例：ダブルイリュージョンはステップを踏み変える事

③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

- ア) ドロップ 1本につき0.1点減点
- イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

【ダンストワール】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……1名
- ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン1本
- ③ 演技スペース ……縦10m×横15mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- ④ 課題曲（時間） ……輝きの時（約1分34秒）
- ⑤ 演技内容 ……バトンとダンスワークのブレンドが、音楽に調和した技術を競う

ルーティーン構成

ア) 音楽のテンポ、リズム、フレーズに合わせ、曲想表現ができるよう、様々なダンスワークとバトンをブレンドし構成する。

(2) 審査内容

① 内容

ア) コレオグラフィー

- ・バトンとダンスワークの組み合わせ／音楽に合った構成・振り付け／チェンジオブペース／フロアの使い方・ステージング

イ) バトンとダンスのブレンド

- ・バトンのバラエティー・ディフィカルティー／ダンスワークのバラエティー・ディフィカルティー／バトンとダンスのコンビネーション／シリーズのディフィカルティー／オリジナリティー

② 実施

ア) テクニック

- ・バトン・ボディの正確さ・明確さ／動きの熟練度・質／リズム・タイミング／音楽との関わり・調和／ダンスワークの質／ボディコントロール

イ) パフォーマンス&エクスペッション

- ・ショーマンシップ・エンターテインメント性／自信

③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

ア) ドロップ 1本につき0.1点減点

イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点

ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない）

第10回 WBTF インターナショナルカップ 大会概要

名 称 第10回 WBTF インターナショナルカップ

主 旨 1978年、カナリー諸島において世界スポーツバトンの向上と発展、選手、国家間の友好を目的とし、世界バトントワーリング連合【WORLD BATON TWIRLING FEDERATION (WBTF)】が設立され、1980年にアメリカ・シアトルで「第1回世界バトントワーリング選手権大会」を開催。2005年からは加盟国及び未加盟国へのさらなる競技バトンの普及を図るため「WBTF インターナショナルカップ」を新設。「世界バトントワーリング選手権大会」との隔年開催により、芸術スポーツとしてのバトントワーリング競技の確立と普及、さらにはオリンピックへの正式種目を最大の目標として発展を目指しています。

開催日程 2019年8月4日(日)～8日(木)

開催場所 フランス

主 催 世界バトントワーリング連合 (WBTF)

参加国 (予定) WBTF加盟32カ国
アイルランド、アメリカ、アルメニア、イタリア、イングランド、インド、ウクライナ、ウズベキスタン、オーストラリア、オランダ、カザフスタン、カナダ、キルギルスタン、クロアチア、スイス、スウェーデン、スコットランド、スペイン、スロベニア、大韓民国、チェコ共和国、ドイツ、日本、ノルウェー、ハンガリー、パキスタン、フィリピン、プエルトリコ、フランス、ベルギー、南アフリカ共和国、ロシア

競技種目 **スリーバトン・アーティスティックトワール・アーティスティックペア・
アーティスティックグループ**

<第 10 回 WBTF インターナショナルカップ競技概要>

種 目	年齢・性別区分	演技時間	国別参加数	演技スペース (目安)
スリーバトン	(女子) ジュニアⅠ 12歳～14歳 ジュニアⅡ 15歳～17歳	課題曲 1分29秒	出場人数は後日 ホームページに て発表する	縦4.5m×横6m
アーティスティック トワール	シニア 18歳～21歳 アダルト 22歳～ (男子) ジュニア 12歳～17歳 シニア 18歳～	課題曲 1分44秒		縦6m×横12m
アーティスティック ペア	性別区分なし ジュニア 12歳～17歳 シニア 18歳～21歳 アダルト 22歳～	課題曲 1分44秒		縦6m×横12m
アーティスティック グループ	性別区分なし [10名以上] ・12歳以上	自由曲 3分～3分30秒 ※過不足10秒可		縦15m×横25m

日本代表選手の参加について

- ① WBTF インターナショナルカップの主旨を考慮し、エリートレベルのみの参加とする。
- ② すべての種目は小学生を除く、12歳以上とする。

第10回 WBTF インターナショナルカップ 日本代表選考（同時審査）

- 選考日程 2019年 3月22日(金) 23日(土) 24日(日)
「第44回全日本バトントワーリング選手権大会」同日日程
- 選考会場 丸善インテックアリーナ大阪（大阪中央体育館）
〒552-0005 大阪府大阪市港区田中3丁目1番40号
- 主 催 一般社団法人日本バトン協会
〒110-0015 東京都台東区東上野6丁目10番1号 大崎ビル303号室
TEL 03-5830-7863 FAX 03-5830-7864
- 特別協賛 株式会社フォトクリエイト
- 主 管 日本バトン協会関西支部
- 後 援 (予定) スポーツ庁、外務省、大阪府、大阪府教育委員会、大阪市、大阪市教育委員会、
公益財団法人大阪体育協会、大阪市体育協会、世界バトントワーリング連合(WBTF)、
一般社団法人日本マーチングバンド協会
- 競技種目 **スリーバトン**
アーティスティックトワール
アーティスティックペア
アーティスティックグループ

実施規定

1. 出場資格

- (1) 出場者は、申し込み時に一般社団法人日本バトン協会に団体加盟している団体に構成員登録していること。会員組織規程に準ずる。
- (2) 複数種目出場者は同一団体から申し込むこと。
(第44回全日本バトントワーリング選手権大会・2019年IBTFグランプリ大会日本代表選考を含む)
- (3) 出場者は支部大会より推薦されること。
※複数の支部での参加は認めない
- (4) エントリーと支部推薦種目
- ① アーティスティックペア／アーティスティックグループのメンバーは、全員が同一団体の構成員に限る。補欠も登録選手以外は認めない。
 - ② スリーバトンは、「第44回全日本バトントワーリング選手権大会」出場者で、「第10回WBTFインターナショナルカップ日本代表選考（同時審査）」にエントリーした選手の中から当協会の手順により日本代表を選出する。
- (5) 出場者は、パスポートの国籍が日本であること。
- (6) すべての参加申し込み申請の〆切は、2019年2月25日（月）17時までとする。
- (7) 「第10回WBTFインターナショナルカップ日本代表選考（同時審査）」にエントリーする選手は参加申込用紙に必要事項を記入し登録団体毎にデータで提出すること。
※申込用紙は、ホームページからダウンロードすること。
- (8) エントリー種目
第10回WBTFインターナショナルカップ日本代表選考と2019年IBTFグランプリ大会日本代表選考で合わせて、3種目までとする。
- (9) 下記の種目別の参加費を、〆切日までに指定口座へ納入すること。
- ① 一度納入された参加費及びエントリー費は、原則として払い戻しはしない。
 - ② 参加に要する各出場者個々の経費は、各参加者の負担とする。

スリーバトン	1,000 円
アーティスティックトワール	8,500 円
アーティスティックペア (1 組)	13,000 円
アーティスティックグループ (1 グループ 20 名以内)	40,000 円
アーティスティックグループ (1 グループ 21 名～30 名)	50,000 円

※大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用するものではない。

- (10) 著作権に関する書類 (添付書類を含む) と録音利用明細書・演奏利用明細書・音楽著作権使用許諾確認書をデータで提出すること。
 ※録音利用明細書について、支部大会時に一括申請し同一の曲を使用する場合は、提出の必要はない。

※「1. 出場資格」に反した場合は、出場資格を失うものとする。

2. 部門に関する規定

※WBTF実施規定変更に伴い、部門、区切り月日は下記の通りとする。
 ※すべての種目は小学生を除く、12 歳以上とする。

【スリーバトン】

- (1) 年齢及び性別は次の通りとする。

女子

- | | | |
|-----------|---------------------------------|------------|
| ① ジュニア I | 2005 年 1 月 1 日～2007 年 4 月 1 日 | ※12 歳～14 歳 |
| ② ジュニア II | 2002 年 1 月 1 日～2004 年 12 月 31 日 | ※15 歳～17 歳 |
| ③ シニア | 1998 年 1 月 1 日～2001 年 12 月 31 日 | ※18 歳～21 歳 |
| ④ アダルト | ～1997 年 12 月 31 日 | ※22 歳以上 |

男子

- | | | |
|--------|-------------------------------|------------|
| ① ジュニア | 2002 年 1 月 1 日～2007 年 4 月 1 日 | ※12 歳～17 歳 |
| ② シニア | ～2001 年 12 月 31 日 | ※18 歳以上 |

※男子 18 歳以上はすべてシニア部門となる。

※2019 年 12 月 31 日時点の年齢を示す。

※全日本選手権 6 種目とは年齢区分が異なるので注意すること。

【アーティスティックトワール】

- (1) 年齢及び性別は次の通りとする。

女子

- | | | |
|-----------|---------------------------------|------------|
| ① ジュニア I | 2005 年 1 月 1 日～2007 年 4 月 1 日 | ※12 歳～14 歳 |
| ② ジュニア II | 2002 年 1 月 1 日～2004 年 12 月 31 日 | ※15 歳～17 歳 |
| ③ シニア | 1998 年 1 月 1 日～2001 年 12 月 31 日 | ※18 歳～21 歳 |
| ④ アダルト | ～1997 年 12 月 31 日 | ※22 歳以上 |

男子

- | | | |
|--------|-------------------------------|------------|
| ① ジュニア | 2002 年 1 月 1 日～2007 年 4 月 1 日 | ※12 歳～17 歳 |
| ② シニア | ～2001 年 12 月 31 日 | ※18 歳以上 |

※男子 18 歳以上はすべてシニア部門となる。
※2019 年 12 月 31 日時点の年齢を示す。

【アーティスティックペア】

(1) 年齢及び性別は次の通りとする。

性別区分無し。2 人の内、年齢の上の人の部門

- | | | |
|----------|---------------------------------|------------|
| ① ジュニア部門 | 2002 年 1 月 1 日～2007 年 4 月 1 日 | ※12 歳～17 歳 |
| ② シニア | 1998 年 1 月 1 日～2001 年 12 月 31 日 | ※18 歳～21 歳 |
| ③ アダルト | ～1997 年 12 月 31 日 | ※22 歳以上 |

※2019 年 12 月 31 日時点の年齢を示す。
※1 名の補欠を用意することが出来る (日本代表認定規程に準ずる)

【アーティスティックグループ】

(1) 年齢及び性別は次の通りとする。

性別区分無し

※～2007 年 4 月 1 日 12 歳以上
※2019 年 12 月 31 日時点の年齢を示す。
※10 名以上 30 名以内とし、補欠を用意することが出来る (日本代表認定規程に準ずる)

3. 演技順に関する規定

(1) アーティスティックトワール／アーティスティックペア／アーティスティックグループの演技順は、大会実行委員会の抽選により決定する。

(2) 決勝の演技順は準決勝の演技順とし、種目重複選手を考慮し大会運営本部にて決定する。

4. 選考に関する規定

【スリーバトン】

- (1) 「第44回全日本バトントワーリング選手権大会」出場者で、「第10回WBTFインターナショナルカップ日本代表選考（同時審査）」にエントリーしている選手の中から当協会が次の手順により選出する。

※決勝進出者は決勝または準決勝の高い方を得点とし、準決勝のみの選手は準決勝の得点で集計する。

- ① 審査員の評点からペナルティを差し引き、得点とする。
- ② 全審査員の得点の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする。
- ③ 同点者のみ次の優先順に従って決定する。
優先順1 各審査員の得点より、全審査員の得点合計の高い方を上位とする。
優先順2 全審査員の投票により決定する。
- ④ **日本代表として成績順に発表する。**

※「第44回全日本バトントワーリング選手権大会」と年齢区分が異なるため部門順位と異なる場合がある。

【アーティスティックトワール／アーティスティックペア】

- (1) 審査員長・審査副員長・審査員・審判員の人数ならびに役割は次の通りとする。

- ① 審査員長1名、審査副員長1名とし、審査の円滑な遂行を統括する。
- ② 審査員——2名～5名

- (2) 選考は次の通りとする。

※ドロップペナルティは行わず、各審査員が総合的に評価して採点する。

- ① 10点法（小数点第2位まで）により採点し、**得点とする。**
- ② **各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する。**
- ③ **同位者のみ次の優先順に従って順位を決定する。**
優先順1 **各審査員の得点より、席次点を算出し全審査員の席次点合計の低い方を上位とする。**
優先順2 **各審査員の得点より、全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする。**
優先順3 **各審査員の得点より、全審査員の得点合計の高い方を上位とする。**
優先順4 **審査員の投票により決定する**
- ④ **日本代表として成績順に発表する。**
- ⑤ **準決勝・決勝は次の通りとする。**
ア) **推薦枠内のエントリーの場合は決勝のみとする。**
イ) **準決勝出場者が**
30人/組以下の場合は10人/組
31人/組以上の場合は12人/組が決勝に進出する。

【アーティスティックグループ】

- (1) 審査員長・審査副員長・審査員・審判員の人数ならびに役割は次の通りとする。

- ① 審査員長1名、審査副員長1名とし、審査の円滑な遂行を統括する。

- ② 審査員——2名～7名
- ③ 審判員——1名以上

(2) 選考は次の通りとする。

※ドロップペナルティは行わず、各審査員が総合的に評価して採点する。

- ① 100点法（小数点第1位まで）により採点し、**得点とする。**
- ② 違反があった場合は、計時/ペナルティシートにて警告するが減点はしない。
- ③ **各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する。**
- ④ **同位者のみ次の優先順に従って順位を決定する。**
 - 優先順1 各審査員の得点より、席次点を算出し全審査員の席次点合計の低い方を上位とする
 - 優先順2 全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする。
 - 優先順3 全審査員の得点合計の高い方を上位とする。
 - 優先順4 審査員の投票により決定する
- ⑤ **日本代表として成績順に発表する。**
- ⑥ **準決勝・決勝は次の通りとする。**
 - ア) 4グループ以下のエントリーの場合は決勝のみとする。
 - イ) 準決勝出場グループが
 - 5～7グループの場合は4グループ
 - 8～14グループの場合は5グループ
 - 15グループ以上の場合は6グループが決勝に進出する。

5. 認定数に関する規定

※出場人数は後日ホームページにて発表する

【WBTFインターナショナルカップ参加について】

- (1) WBTFインターナショナルカップ参加に要する各出場者の経費は各参加者の負担とする。
- (2) ジュニア選手は引率コーチが必ず同行すること。
- (3) 日本代表選手が止むを得ぬ事由で出場不可能となった場合、各種目次点選手が大会出場の認定を受けることができる。但し、**変更期日は2019年4月15日（月）までとする。**
※日本代表認定規程に準ずる

6. コスチュームに関する規定

【スリーバトン】

- (1) 自由（女子はパンツスタイル不可）

【アーティスティックトワール／アーティスティックペア共通】

- (1) スポーツ競技であることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない。

【アーティスティックグループ】

- (1) スポーツ競技であることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない。

7. バトン、その他に関する規定

(1) すべての種目共通

- ①ボールとティップは新しいものを使用すること。演技前にバトンのチェックを行う。
- ②バトンのシャフトはどのような色を使用しても良い。
- ③バトンのシャフトに貼るテープはどのような色を使用しても良い。ただしグリップテープはシャフトの長さの1/2までとし、センターから同等に巻く(2017年度より実施)こと。
- ④グリップテープは隙間なく巻いても、ストライプ状でも渦巻状でもよい。
- ⑤テープやテープの類似品以外の、付属品等を使用することはできない。(視覚的補助及びハンドリング補助の為は可)
- ⑥複数人での参加種目ではグリップテープのカラーや巻き方は同一とすること。
- ⑦演技スペースヘタオール・パウダー等バトン以外を持ち込んで서는ならない。
- ⑧演技中の怪我のための包帯は可。
- ⑨必要ならばメガネは可。サングラス・光りものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリ類は全て禁止する。
- ⑩付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する。
- ⑪スポーツ競技であることを前提に、適度なメイクアップは良い、装飾(顔に絵を描いたりすること)は禁止する。
- ⑫アナウンスについての規定
 - ①セット番号→②最後の選手名アナウンス後→③4拍後に「ミュージック」→④2拍後に音楽を再生する。

8. 競技におけるアクシデントに関する規定

- (1) 大会期間中のアクシデント(体調不良、怪我・演技中にバトンが折れる)について再演技の判断は、団体責任者・本人・審査員長・実行委員長が協議し決定をする。
- (2) 再演技を行った場合は、再演技の採点を有効とする。ただし、再演技を行わなかった場合は、演技をした所までを採点対象とする。
- (3) 選手が自分の演技時間に出遅れ、途中から演技を行った場合は演技を行ったところを採点対象とする。演技コートにいない場合は棄権とみなす。

9. その他

- (1) 大会の主旨に反する行為を行った場合、警告又は次回大会出場停止とする。
- (2) 本実施要項の主旨を変更することなく、大会実行委員会において加除訂正を行うことができる。

10. 著作権について

【アーティストックグループ】

大会参加における著作権は著作権法に基づきこれを遵守すること。
音楽著作権使用許諾のある曲以外(自作曲を除く)は使用できない

(1) 音楽著作権使用許諾の申請

使用曲には音楽著作権使用許諾の申請が必要である。

- ① 使用曲の音源(全曲)については、各団体の責任において直接版權を持っている出版元に音楽使用許諾をとること。

- ② 許諾が下りるまでに日数がかかる場合があるので注意すること。
- ③ 自作曲の場合は、適用除外となる。

尚、著作権は著作者の死後 50 年を経ると消滅する事が原則だが、著作者の著作権の有無は JASRAC（日本音楽著作権協会）の団体管轄支部に直接問い合わせること。（使用料等の金額並びに支払方法を提示される事がある。）

大会で使用した曲について万が一版元とのトラブルが生じた場合は、団体の責任の元に処理のこと。

（２）大会参加手続に関する提出書類

「音楽著作権使用許諾確認書」の提出

① 使用許諾の状況により、下記の添付書類の提出が必要となる。

① 条件なしで許諾された

○ 版元より出される確認書の写しまたは各団体で作成した確認書を添付

② 条件ありで許諾された（無料）

○ 版元より出される許諾を証明する書類の写しを添付

③ 条件ありで許諾された（有料）

○ 版元より出される許諾を証明する書類の写し及び領収書・振込控等（コピー可）を添付すること

④ 許諾の必要がない（自作曲等）

○ 書類添付の必要なし

尚、「各団体で作成した確認書」又は「版權を所有している団体で公式の許諾用書式がない場合」には以下を明記の上作成し提出すること。

- ① 版權所有の正式団体名
- ② 住所
- ③ 電話番号／メールアドレス
- ④ 担当者名
- ⑤ 許諾に関する対応をされた期日

【スリーバトン】

(1) 演技に関する規定

- ① 第44回全日本バトントワーリング選手権大会と同様とする。

(2) 審査内容

- ① 第44回全日本バトントワーリング選手権大会と同様とする。

【アーティスティックトワール】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……1名
 ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン1本
 ③ 演技スペース ……縦6m×横12mの広さを目安とする。
 演技途中、境界線を越してしまった場合は、審査内容の「空間の利用度」で判断する。
 ④ 演技曲（時間） ……課題曲（約1分44秒）

(2) 審査内容

- ① 技術
 ア) テクニック
 イ) スピード
 ウ) 3モード(エアーリアル・ロール・コンタクトマテリアル)のバラエティー・ディフィカルティー
 エ) ボディワークのバラエティー・ディフィカルティー
 オ) ディフィカルティー
 カ) クリアネス&シュアネス
 ② 芸術
 ア) ジェネラルコンテンツ
 イ) ビジュアルミュージカルティー
 ウ) 空間の利用度
 エ) チェンジオブペース
 オ) スキルの要求度
 カ) 演技の優秀さ
 キ) 正確さ
 ク) エンターテインメントの価値／プロフェッショナリズム

【アーティスティックペア】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……2名
 ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン2本（各1本）
 ③ 演技スペース ……縦6m×横12mの広さを目安とする。
 演技途中、境界線を越してしまった場合は、審査内容の「空間の利用・ステージング」で判断する。

- ④ 演技曲（時間） ……課題曲（約1分44秒）

（2） 審査内容

① 内容

- ア) バトンとボディのバラエティー・ディフィカルティー
- イ) エクスチェンジ
- ウ) 移動しながらのバントワーリング
- エ) 両手使い

② 実施

- ア) 滑らかさと流れ
- イ) 音楽との関わりでの速さ
- ウ) ボディポジションの均一性／トスの高さ、回転、リリース&キャッチ
- エ) バトンとボディの正確な技術
- オ) ペアワーク

③ 全体的効果

- ア) 音楽の解釈とビジュアルミュージカルティー
- イ) 時間と空間の利用
- ウ) ステージング
- エ) 一貫性と論理的な展開
- オ) エンターテインメントの価値
- カ) 表情と身仕舞い
- キ) プロフェッショナルリズム（リカバリー能力、ペアの責任）

【アーティストックグループ】

【種目の概要説明】

グループ種目における重要ポイントとは、エフェクト(効果)の完成度と明確さ。これを達成するには、フォーメーション、構図、パターン、移動時の動作など、メンバー全員がスキルレベルを同様に習得している事が求められる。これらの技術を基礎とし、音楽表現、テーマ、キャラクターやストーリーをビジュアルエフェクト（視覚的効果）として表現する。

振り付けは自由に行う事が出来、フリースタイルチーム種目のように必要とされる内容を演技に組み込まなくてはならないと言う制約はない。また、演技で使用するスキルをより深く掘り下げるより、ユニゾン（協調性）が重要である。それに伴って演技の明確さや視覚的な主張が大切で、よりエンターテインメント性に富んだ演技種目。

（1） 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……10名以上 **30名以内**
- ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン（各自1本）
- ③ 演技スペース ……縦15m×横25mの広さを目安とし、競技フロアは枠を取り、
□の各ライン中央に印を付ける。
演技途中、境界線を越してしまった場合は、審査内容の「フロアの利用」で判断する。
- ④ 演技曲（時間） ……自由曲
グループの音楽は各参加者が選択し、データにて事前に提出すること。
演技曲のスタート（演技開始）とストップ（演技終了）の合図は、演技者が演技スペース内で行うか、又は付添者が音響席にて行うこと。曲の長さ（計時）は、音楽の第一音より最終音までとする。

音楽の第一音以前に演技開始のための合図音（1秒以内）を入れても良いが、計時には含めない。

3分以上3分30秒以内（過不足10秒可）とする。

⑤入退場について

…原則として、演技者は、グループ名をアナウンスされてから審査員より見て、左側より入場し、ポジション取りを行い演技を始め、演技終了後審査員より見て、右側より退場すること。但し会場によりその限りではない。入退場は、曲（音楽）無しで行うこと。

（2） 審査内容

① 全体的効果 40%

ア) 最重要点は、完成度の高さ。

イ) 音楽を生かしたキャラクター、一人一人の役割、個性、グループのスタイル

ウ) 論理性や信頼性に基づく、優秀な演技

エ) グループならではの幅広く多彩な効果、引き付ける魅力

オ) 全体を通してムード、芸術性、視聴覚の一致の維持

カ) フロアの利用、列、タイミング、空間の利用

② コレオグラフィー 30%

ア) プログラムコンセプトの優秀さ（テーマの展開）

イ) 作品のドラマチックさと、計算されたバトン・ボディワーク・ステージング・フォーメーションの展開の質

ウ) 時間やレイヤー（いくつかのパーツの重なりや層）を用いたデザインと構成の質

③ バトン 15%

ア) 演技者のレベルに見合ったトワーリング素材

イ) バトンとボディワークのコンビネーション

ウ) 全員によるバトン熟練度の達成

エ) 素材の十分なトレーニング

オ) マスター度

④ ボディ 15%

ア) 演技者のレベルに見合ったボディワーク素材

イ) ボディワークとバトンのコンビネーション

ウ) 全員によるボディワーク熟練度の達成

エ) 素材の十分なトレーニング

オ) マスター度

<技術内容の禁止事項>

スピン	<ul style="list-style-type: none"> ・1スピン…リリース&レセプション、ボディも禁止事項なし。 ・2スピン…スタンダードリリースとレセプション。(※1)ボディの禁止事項なし。
エーリアル ジムナスティック	<ul style="list-style-type: none"> ・側中・前宙のような空中動作は禁止。
ステーションナリー コンプレックス & トラベリング コンプレックス	<ul style="list-style-type: none"> ・トスの下で、メジャーボディムーブ(※2)は1回。その際、スタンダードリリース&スタンダードレセプション。 ・その他ボディの禁止事項なし。
ダブルエレメント トリック	<ul style="list-style-type: none"> ・トスを伴うダブル以上は禁止。
ロール	<ul style="list-style-type: none"> ・コンティニューアスフロントネックロール(手の有無に関係なく)禁止。 ・フロントネックフィギュアエイト禁止。 ・モンスターロール(パーシャルも完成形も)禁止。
コンタクトマテリアル	<ul style="list-style-type: none"> ・禁止事項なし。

詳細：(※1) スタンダードリリースとは、右手と左手のバーティカルサムトス・バーティカルバックハンドトス・水平トス。

スタンダードレセプションとは、バーティカル・水平右手左手キャッチと右手左手グラブ。

(※2) メジャーボディムーブとは、イリュージョン・ウォークオーバー(前・後)・リープやジャンプ・ソッテ・アラベスク・アチチュード・グランバットマン・ソデバスク・トワジュテ・カプリオーレで、約3拍又はそれ以上の拍数のもの。

マイナーボディムーブとは、ホップ・スキップ・シャッセ・ピケ・ステップステップ・クッペ・ソッテなど予備動作やフォローのために使われるもので約2拍のもの。

2019年 IBTF グランプリ大会 大会概要

名 称	2019年 IBTF グランプリ大会
主 旨	バトントワーリングの世界的普及と発展を目指して、ナショナルバトントワーリング協会世界連合（WFNBTA）と世界バトントワーリング連合（WBTF）は、新たな国際組織「国際バトントワーリング連盟（International Baton Twirling Federation [IBTF]）」を設立することになりました。共同事業として、両組織の優れた選手たちが一堂に集い、友好を深め、技を競う2019年IBTFグランプリ大会を開催します。
開催日程	2019年8月9日(金)～11日(日)
開催場所	フランス
主 催	国際バトントワーリング連盟（IBTF）
参加国 (予定)	WBTF加盟32カ国 アイルランド、アメリカ、アルメニア、イタリア、イングランド、インド、ウクライナ、ウズベキスタン、オーストラリア、オランダ、カザフスタン、カナダ、キルギルスタン、クロアチア、スイス、スウェーデン、スコットランド、スペイン、スロベニア、大韓民国、チェコ共和国、ドイツ、日本、ノルウェー、ハンガリー、パキスタン、フィリピン、プエルトリコ、フランス、ベルギー、南アフリカ共和国、ロシア
競技種目	ソロトワール／トゥーバトン／フリースタイルチーム
レ ベ ル	全種目エリートレベル

<2019年IBTFグランプリ大会競技概要>

種 目	年齢・性別区分	演技時間	国別参加数	演技スペース (目安)
ソロトワール	(女子) ジュニアⅠ 12歳～14歳 ジュニアⅡ 15歳～17歳 シニア 18歳～21歳	課題曲 2分	出場人数は後日 ホームページに て発表する	縦4.5m×横6m
トゥーバトン	アダルト 22歳～ (男子) ジュニア 12歳～17歳 シニア 18歳～	課題曲 1分45秒		
フリースタイル チーム	性別区分なし 12歳以上 [6名～8名]	自由曲 3分～3分30秒 ※過不足10秒可		縦15m×横25m

2019年
IBTF グランプリ大会
日本代表選考（同時審査）

- 選考日程 2019年 3月22日(金) 23日(土) 24日(日)
 「第44回全日本バトントワーリング選手権大会」同日日程
- 選考会場 丸善インテックアリーナ大阪（大阪市中央体育館）
 〒552-0005 大阪府大阪市港区田中3丁目1番40号
- 主 催 一般社団法人日本バトン協会
 〒110-0015 東京都台東区東上野6丁目10番1号 大崎ビル303号室
 TEL 03-5830-7863 FAX 03-5830-7864
- 特別協賛 株式会社フォトクリエイト
- 主 管 日本バトン協会関西支部
- 後 援 スポーツ庁、外務省、大阪府、大阪府教育委員会、大阪市、大阪市教育委員会、
（予定） 公益財団法人大阪体育協会、大阪市体育協会、世界バトントワーリング連合（WBTF）、
 一般社団法人日本マーチングバンド協会
- 競技種目 ソロトワール
 トゥーバトン
 フリースタイルチーム

実施規定

1. 出場資格

- (1) 出場者は、申し込み時に一般社団法人日本バトン協会に団体加盟している団体に構成員登録していること。会員組織規程に準ずる。
- (2) 複数種目出場者は同一団体から申し込むこと。
(第44回全日本バトントワーリング選手権大会・第10回WBTFインターナショナルカップ日本代表選考を含む)
- (3) 出場者は支部大会より推薦されること。
※複数の支部での参加は認めない
- (4) エントリーと支部推薦種目
- ① フリースタイルチームのメンバーは、全員が同一団体の構成員に限る。補欠も登録選手以外は認めない。
 - ② ソロトワール／トゥーバトンは「第44回全日本バトントワーリング選手権大会」出場者で「2019年IBTFグランプリ大会日本代表選考（同時審査）」にエントリーした選手の中から当協会の手順により日本代表を選出する。
- (5) 出場者は、パスポートの国籍が日本であること。
- (6) すべての参加申し込み申請の〆切は、2019年2月25日（月）17時までとする。
- (7) 「2019年IBTFグランプリ大会日本代表選考（同時審査）」にエントリーする選手は、参加申込用紙に必要事項を記入し、登録団体毎にデータで提出すること。
※申込用紙は、ホームページからダウンロードすること
- (8) エントリー種目
第10回WBTFインターナショナルカップ日本代表選考と2019年IBTFグランプリ大会日本代表選考で合わせて、3種目までとする。
- (9) 下記の種目別の参加費を、〆切日までに指定口座へ納入すること。
- ① 一度納入された参加費及びエントリー費は、原則として払い戻しはしない。
 - ② 参加に要する各出場者個々の経費は、各参加者の負担とする。

ソロトワール	1,000円
トゥーバトン	1,000円
フリースタイルチーム（1チーム）	40,000円

※大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用するものではない。

- (10) 著作権に関する書類（添付書類を含む）と録音利用明細書・演奏利用明細書・音楽著作権使用許諾確認書をデータで提出すること。
※録音利用明細書について、支部大会時に一括申請し同一の曲を使用する場合は、提出の必要はない。

※「1. 出場資格」に反した場合は、出場資格を失うものとする。

2. 部門に関する規定

※IBTF実施規定変更に伴い、部門、年齢、区切り月日は下記の通りとする。
※すべての種目は小学生を除く、12歳以上とする。

【ソロトワール／トゥーバトン】

- (1) 年齢及び性別は次の通りとする。

女子

- | | | |
|---------|-----------------------|----------|
| ① ジュニアⅠ | 2005年1月1日～2007年4月1日 | ※12歳～14歳 |
| ② ジュニアⅡ | 2002年1月1日～2004年12月31日 | ※15歳～17歳 |
| ③ シニア | 1998年1月1日～2001年12月31日 | ※18歳～21歳 |
| ④ アダルト | ～1997年12月31日 | ※22歳以上 |

男子

- | | | |
|--------|---------------------|----------|
| ① ジュニア | 2002年1月1日～2007年4月1日 | ※12歳～17歳 |
| ② シニア | ～2001年12月31日 | ※18歳以上 |

※男子18歳以上はすべてシニア部門となる。

※2019年12月31日時点の年齢を示す。

※全日本選手権6種目とは年齢区分が異なるので注意すること。

【フリースタイルチーム】

- (1) 年齢及び性別は次の通りとする。

性別区分無し

※～2007年4月1日 12歳以上

※2019年12月31日時点の年齢を示す。

※6名以上8名以内とし、正メンバーの半数の補欠を用意することが出来る

但し、IBTFグランプリ大会への補欠登録は2名とする（日本代表認定規程に準ずる）

3. 演技順に関する規定

- (1) フリースタイルチームの演技順は、大会実行委員会の抽選により決定する。
- (2) 決勝の演技順は準決勝の演技順とし、種目重複選手を考慮し大会運営本部にて決定する。

4. 選考に関する規定

【ソロトワール／トゥーバトン】

- (1) 「第44回全日本バトントワーリング選手権大会」出場者で、「2019年IBTFグランプリ大会日本代表選考（同時審査）」にエントリーした選手の中から当協会が次の手順により選出する。

※決勝進出者は決勝または準決勝の高い方を得点とし、準決勝のみの選手は準決勝の得点で集計する。

- ① 審査員の評点からペナルティを差し引き審査員の得点とする。
- ② 全審査員の得点の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする。
- ③ 同点者のみ次の優先順に従って決定する。
優先順1 各審査員の得点より、全審査員の得点合計の高い方を上位とする。
優先順2 全審査員の投票により決定する。
- ④ 日本代表として成績順に発表する。

※ソロトワールとトゥーバトンは「第44回全日本バトントワーリング選手権大会」と年齢区分が異なるため部門順位と異なる場合がある。

【フリースタイルチーム】

- (1) 審査員長・審査副員長・審査員・審判員の人数ならびに役割は次の通りとする。

- ① 審査員長1名、審査副員長1名とし、審査の円滑な遂行を統括する。
- ② 審査員——2名～7名
- ③ 審判員——1名以上

- (2) 選考は次の通りとする。

※ドロップペナルティは行わず、各審査員が総合的に評価して採点する。

- ① 100点法（小数点第1位まで）により採点し、得点とする。
- ② 違反があった場合は、計時/ペナルティシートにて警告するが減点はしない。
- ③ 各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する。
- ④ 同位者のみ次の優先順に従って順位を決定する。
優先順1 各審査員の得点より、席次点を算出し全審査員の席次点合計の低い方を上位とする。
優先順2 全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする。
優先順3 各審査員の得点より、全審査員の得点合計の高い方を上位とする。
優先順4 審査員の投票により決定する
- ⑤ 日本代表として成績順に発表する。
- ⑥ 準決勝・決勝は次の通りとする。
2019年IBTFグランプリ大会への出場数が決まり次第決勝進出チーム数を決定する。

5. 認定数に関する規定

※ 出場人数は後日ホームページにて発表する

【IBTF グランプリ大会参加について】

- (1) IBTFグランプリ大会参加に要する各出場者の経費は各出場者の負担とする。
- (2) ジュニア選手は引率コーチが必ず同行すること。
- (3) 日本代表選手が止むを得ぬ事由で出場不可能となった場合、各種目次点選手が大会出場の認定を受けることができる。但し、**変更期日は2019年4月15日（月）まで**とする。
※日本代表認定規程に準ずる

6. コスチュームに関する規定

【ソロトワール／トウーバトン】

- (1) 自由（女子はパンツスタイル不可）

【フリースタイルチーム】

- (1) スポーツであることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない。
- (2) 手のひらと顔を覆うようなものは不可とする。

7. バトン、その他に関する規定

* 第10回WBTFインターナショナルカップ日本代表選考（同時審査） 実施規定に準ずる

8. 競技におけるアクシデントに関する規定

- (1) 大会期間中のアクシデント（体調不良、怪我・演技中にバトンが折れる）について再演技の判断は、団体責任者・本人・審査員長・実行委員長が協議し決定をする。
- (2) 再演技を行った場合は、再演技の採点を有効とする。ただし、再演技を行わなかった場合は、演技をした所までを採点対象とする。
- (3) 選手が自分の演技時間に出遅れ、途中から演技を行った場合は演技を行ったところを採点対象とする。演技コートにいない場合は棄権とみなす。

9. その他

- (1) 大会の主旨に反する行為を行った場合、警告又は次回大会出場停止とする。
- (2) 本実施要項の主旨を変更することなく、大会実行委員会において加除訂正を行うことができる。

10. 著作権について

【フリースタイルチーム】

大会参加における著作権は著作権法に基づきこれを遵守すること。
音楽著作権使用許諾のある曲以外（自作曲を除く）は使用できない

(1) 音楽著作権使用許諾の申請

使用曲には音楽著作権使用許諾の申請が必要である。

- ① 使用曲の音源（全曲）については、各団体の責任において直接著作権を持っている出版元に音楽使用許諾をとること。
- ② 許諾が下りるまでに日数がかかる場合があるので注意すること。
- ③ 自作曲の場合は、適用除外となる。

尚、著作権は著作者の死後 50 年を経ると消滅する事が原則だが、著作者の著作権の有無は JASRAC（日本音楽著作権協会）の団体管轄支部に直接問い合わせること。（使用料等の金額並びに支払方法を提示される事がある。）

大会で使用した曲について万が一版元とのトラブルが生じた場合は、団体の責任の元に処理のこと。

(2) 大会参加手続に関する提出書類

「音楽著作権使用許諾確認書」の提出

- ① 使用許諾の状況により、下記の添付書類の提出が必要となる。

① 条件なしで許諾された

○ 版元より出される確認書の写しまたは各団体で作成した確認書を添付

② 条件ありで許諾された（無料）

○ 版元より出される許諾を証明する書類の写しを添付

③ 条件ありで許諾された（有料）

○ 版元より出される許諾を証明する書類の写し及び領収書・振込控等（コピー可）を添付すること

④ 許諾の必要がない（自作曲等）

○ 書類添付の必要なし

尚、「各団体で作成した確認書」又は「著作権を所有している団体で公式の許諾用書式がない場合」には以下を明記の上作成し提出すること。

- ① 著作権所有の正式団体名
- ② 住所
- ③ 電話番号／メールアドレス
- ④ 担当者名
- ⑤ 許諾に関する対応をされた期日

【ソロトワール／トゥーバトン】

(1) 演技に関する規定

- ① 第44回全日本バトントワーリング選手権大会と同様とする

(2) 審査内容

- ① 第44回全日本バトントワーリング選手権大会と同様とする

【フリースタイルチーム】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……6名以上8名以内
- ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン6本から8本(各1本)
- ③ 演技スペース ……縦15m×横25mの広さを目安とし、競技フロアは枠を取り、□の各ライン中央に印をつける。
演技途中、境界線を越してしまった場合は、審査内容の「空間の利用・ステージング」で判断する。
- ④ 演技曲(時間) ……自由曲
フリースタイルの音楽は各参加者が選択し、データにて事前に提出すること。
演技曲のスタート(演技開始)とストップ(演技終了)の合図は、演技者が演技スペース内で行うか、又は付添者が音響席にて行うこと。曲の長さ(計時)は、音楽の第一音より、最終音までとする。
音楽の第一音以前に演技開始のための合図音(1秒以内)を入れても良いが、計時には含めない。
3分以上3分30秒以内(過不足10秒可)とする。
- ⑤ 入退場について ……原則として、演技者は、チーム名をアナウンスされてから審査員より見て、左側より入場し、ポジション取りを行い演技を始め、演技終了後審査員より見て、右側より退場すること。但し会場によりその限りではない。入退場は、曲(音楽)無しで行うこと。

(2) 審査内容

- ① 内容
ア) バトンとボディのバラエティー・ディフィカルティー
イ) エクスチェンジ
ウ) 移動しながらのバトントワーリング
エ) 両手使い
- ② 実施
ア) 滑らかさと流れ
イ) 音楽との関わりでの速さ
ウ) ボディポジションの均一性／トスの高さ、回転、リリース&キャッチ
エ) バトンとボディの正確な技術
オ) チームワーク

③ 全体的効果

- ア) 音楽の解釈とビジュアルミュージカリティー
- イ) 時間と空間の利用
- ウ) ステージング
- エ) 一貫性と論理的な展開
- オ) エンターテインメントの価値
- カ) 表情と身仕舞い
- キ) プロフェッショナルリズム（リカバリー能力、チームの責任）

※ 演技中に演技者は、声を掛け合わないこと

第 10 回 WBTF インターナショナルカップ・2019 年 IBTF グランプリ大会共通
支部別出場枠

(1) アーティスティックトワール、アーティスティックペア、アーティスティックグループ、フリースタイルチームは支部大会から推薦されること。

(2) 支部別出場割当枠数は下記表の通りとする。

- ① 支部大会の実情に合わせ、総割当枠は種目毎に自由に分割することができる。ただし、各部門の上限を定める。
 アーティスティックトワール 15 名
 アーティスティックペア 8 組
 アーティスティックグループ/フリースタイルチーム合わせて 6 グループ/チーム
- ② 出場者がなく使用できなかった枠数は、他種目へ振り替えることができる。ただし、1 部門（チーム/グループの場合は1種目）2 枠までとする。
- ③ 決定した割当枠は、2019 年 1 月 15 日までに日本バトン協会へ提出すること。

	北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	合計
アーティスティックトワール	5	6	32	6	21	34	12	6	32	6	160
各部門の上限は15名とする											
	北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	合計
アーティスティックペア	3	3	10	7	14	14	8	3	8	3	73
各部門の上限は8組とする											
	北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	合計
アーティスティックグループ	2	2	4	5	6	6	2	2	2	2	33
フリースタイルチーム											
アーティスティックグループ/フリースタイルチーム合わせて 上限6グループ/チーム											
					出場割り当て上限数	移動枠上限					
					アーティスティックトワール	15	2				
					アーティスティックペア	8					
					アーティスティックグループ/フリースタイルチーム	6					
それぞれの種目での部門の枠数は支部で自由に決められる。ただしそれぞれには上限を設ける（赤字参照） 種目を越え別の種目に不使用枠を移動できる。ただし1部門（チーム/グループの場合は1種目）2枠までとする。											

各種申し込みについて

(1) 課題曲

- ① 2010年度改訂6種目課題曲 CD 2,160円を送料別にて販売する。
[ソロトワール/トゥーバトン/スリーバトン/ペア/ソロストラット/ダンストワール]
- ② 2014年度改訂WBTF課題曲 CD 1,080円を送料別にて販売する。
[ショートプログラム/アーティスティックトワール/アーティスティックペア]

※一般社団法人日本バトン協会ホームページより申し込むこと。 [<http://www.baton-jp.org/>]

- ③ グランプリ大会の課題曲はWBTFのオフィシャルサイト
「RESOUCES LIBRARY」→ 「Video and Audio」からダウンロードできる。

(2) 入場券

- ① 参加者及び出場団体引率者以外は、全員入場券を必要とする。

2019年3月22日(金)	前売り	2,000円	当日	2,500円
2019年3月23日(土)	前売り	2,000円	当日	2,500円
2019年3月24日(日)	前売り	3,500円	当日	4,000円
3日間通し	前売り	6,000円	当日	無し

※プログラム別売り 700円(税込) [大会会場にて販売]

※前売り入場券の購入方法は、後日ホームページに掲載。

※チケット前売り販売日程は**決定次第公開する**。

※当日券は大会会場にて販売する。

※一度発行した入場券の返券(返金)及び再発行はしない。

出場者の注意事項等

■ 写真およびDVD撮影販売及び二次使用について

- ・演技中の写真撮影及びビデオ撮影は禁止です。
- ・写真およびDVDの撮影販売は、当協会指定業者が行う。
- ・写真およびDVDの著作権は、一般社団法人日本バトン協会に帰属する。
- ・二次使用については、該当団体の承諾のもと使用することとする。

■ 傷害保険について

- ・当協会にて、出場者・係員を対象に傷害保険に加入する。
- ・補償内容は「大会当日の会場到着時から会場出発時まで」とする。会場までの移動や宿泊中の傷害保険については、各団体が任意で加入のこと。

■ 選手及び引率者入館

- ・選手は“第44回全日本バトントワーリング選手権大会の通行証”と“一般社団法人日本バトン協会2018年度構成員ワッペン”を、引率者は“通行ID”を着装し、参加者用の入口から入館する。
- ・引率者は1名とし、選手10名につき1名の割合で追加することができる。
- ・通行証は、選手登録受付時に配布する。

■ 宿泊・弁当の斡旋について

[宿泊] 斡旋日 2019年3月21日(木)・22日(金)・23日(土)・24日(日)
斡旋場所 近隣のホテル

[弁当] 斡旋日 2019年3月22日(金) 昼食・夕食 [会場内渡し]
23日(土) 昼食・夕食 [会場内渡し]
24日(日) 昼食・夕食 [会場内渡し]

代 金 一食 1,000円程度(税込)

※詳しい内容は、後日ホームページに掲載。

緊急対策

1. 目的

大会における会場管理の安全を期し、以て不測の事態による人的災害を最小限に軽減するために以下の緊急時対策をとる。

2. 予防体制

- (1) 各担当者は、それぞれのポジション内の整理については、特に注意し、不必要なものは置かないようにする。
- (2) 入場開始1時間前に、役員及び係員全員で、消防器所在などの会場内事情を確認するとともに不審物、危険物の有無の点検を徹底的に行う。多少でも疑わしきものがあつた場合には、大会本部に各担当責任者を通じ連絡すること。
- (3) 開会30分前に再度確認する。

3. 緊急事態発生の場合

(1) 火災発生の場合

- ① 火災発生の発見者は、直ちに初期消火体制をとるとともに、臨席の消防官・警察官に通報、また、各担当責任者に連絡すること。
- ② 各担当責任者は、大会本部に通報し、大会本部は消防署に通報する。
- ③ 臨席の消防官または警察官の指示は、各担当者が受け本部に連絡する。
- ④ 初期消火については、会場内所定の消火器の操作要領を、各担当責任者が関係係員に確認しておくこと。
- ⑤ 来場者の避難誘導については、大会本部からの連絡（放送）により、来場者を混乱させることなく、あらかじめ定めた通路を使って誘導を行う。

(2) 地震の場合

- ① 来場者に対して、まず冷静に対処することを放送・ハンドマイクなどで呼びかけ、本部の状況判断を待ち、避難を要する場合は各出入口を使って館外に誘導を行う。
誘導にあたっては、各担当責任者、臨席の消防官・警察官の指示を受ける。

(3) けが人・病人発生の場合

- ① けが人・病人が発生した場合には、各担当者を通じて大会本部に通報し、その指示を受け、救護係員の到着を待つこと。
- ② 各担当者は本部に通報する。
- ③ 大会本部は、救護班に待機場所を通報し、必要がある場合は、大会本部より救急車の出動を要請する。
- ④ 救護所は、医務室に設置する。